

平成20年度決算の概要

平成20年度の決算がまとまりましたので、一般会計を中心にその概要をお知らせします。
 平成20年度は「病児・病後児保育」の実施による保育所のフルサービス化や「子育て支援センターおよび誠道小学校の芝生化」、また、「中学校での33人学級」といった新たな施策に取り組みました。
 一般会計は、歳入から歳出を差し引くと6億4,001万円の黒字で、そこから翌年度に繰り越すべき財源3億941万円を除いたものが、3億3,060万円(実質的な黒字)となりました。また、市債(借金)の残高は約7.3億円減少する一方で、基金(貯金)の残高は約1.2億円の増加となり、「自立・持続可能な財政基盤の確立」に努めた取組みの成果が表れたものとなっています。

特別会計については、左ページの表のとおりです。

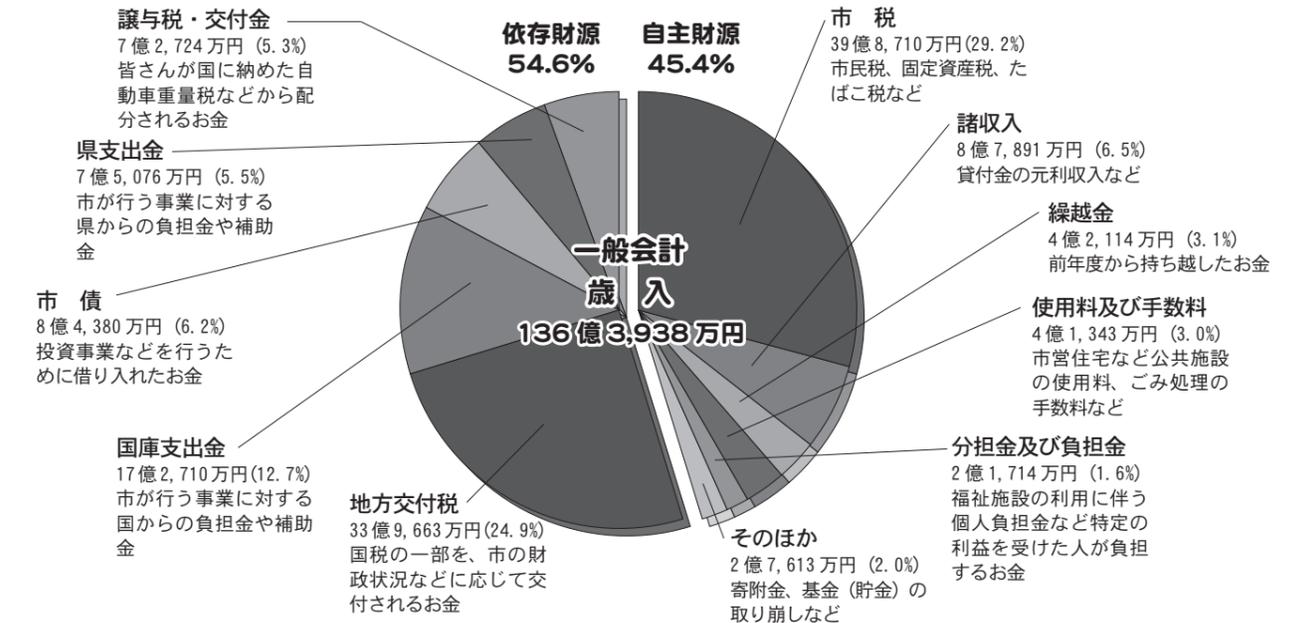
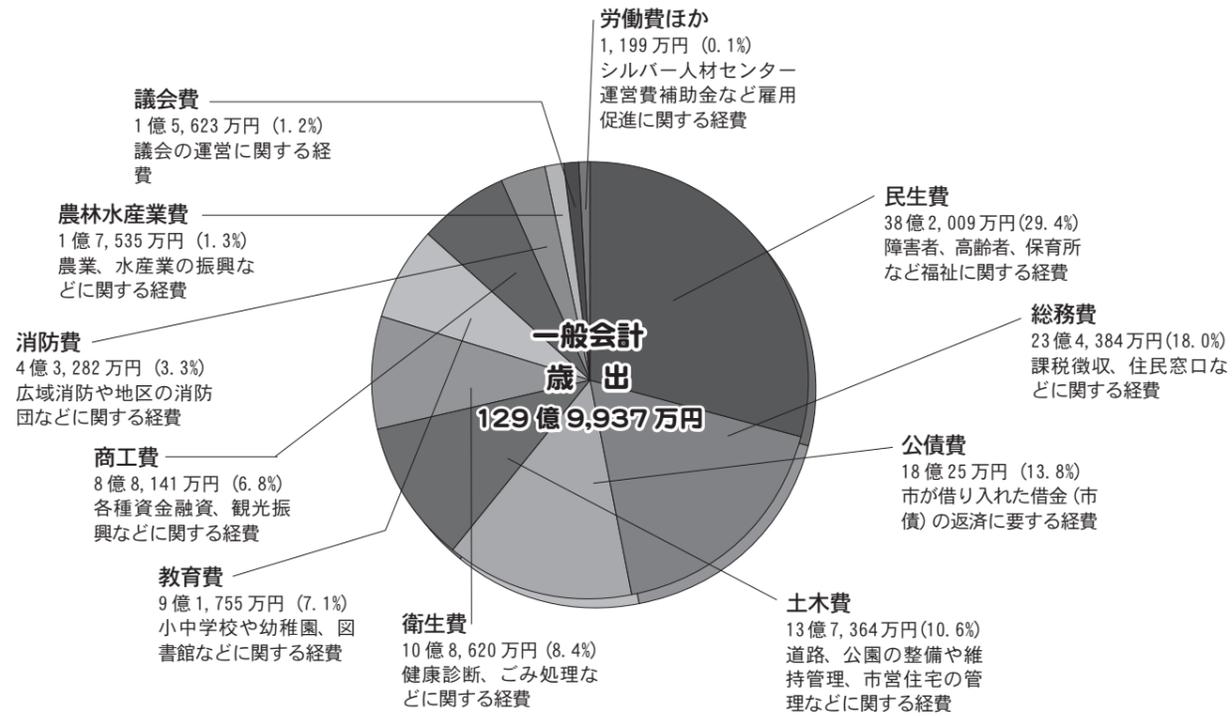
☎問合せ先 財政課 (☎47-1012)

一般会計歳出の状況

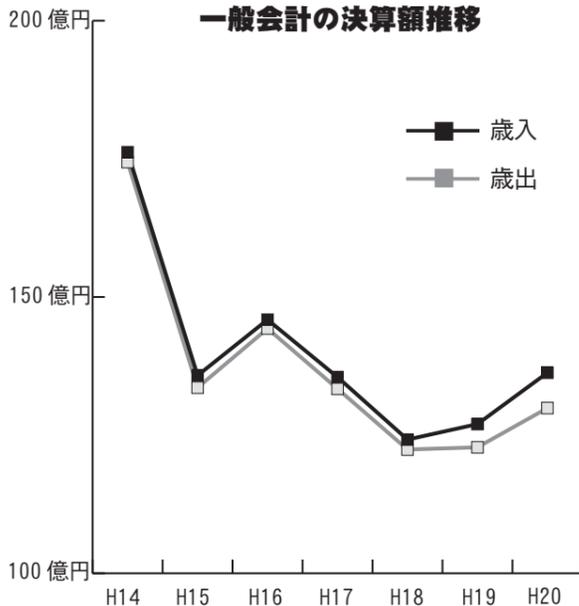
歳出総額は129億9,937万円で、前年度より7億1,273万円(5.8%)増額となりました。

定額給付金の支給や退職手当の増などにより、総務費が前年度に比べ8億1,052万増加しています。

区分	平成20年度決算額	平成19年度決算額	伸び率
民生費	38億2,009万円	38億5,358万円	▲0.9%
総務費	23億4,384万円	15億3,332万円	52.9%
公債費	18億25万円	17億6,542万円	2.0%
土木費	13億7,364万円	12億7,982万円	7.3%
衛生費	10億8,620万円	11億824万円	▲2.0%
教育費	9億1,755万円	9億3,417万円	▲1.8%
商工費	8億8,141万円	10億9,688万円	▲19.6%
消防費	4億3,282万円	4億2,571万円	1.7%
農林水産業費	1億7,535万円	1億2,878万円	36.2%
議会費	1億5,623万円	1億4,688万円	6.4%
労働費ほか	1,199万円	1,384万円	▲13.3%
合計	129億9,937万円	122億8,664万円	5.8%



一般会計の決算額推移



特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険費	41億2,992万円	37億8,189万円
駐車場費	7,159万円	6,120万円
下水道事業費	25億7,600万円	25億7,415万円
高齢者住宅整備資金貸付事業	260万円	260万円
老人保健費	4億6,196万円	4億7,020万円
介護保険費	25億7,199万円	25億5,075万円
土地区画整理費	100万円	4億2,217万円
市場事業費	4,686万円	4,760万円
後期高齢者医療費	3億2,154万円	3億1,987万円

一般会計歳入の状況

歳入総額は136億3,938万円で、前年度より9億3,160万円(7.3%)増額となりました。

自主財源は、前年度からの繰越金などが増となったものの、法人市民税をはじめとする市税の減などにより、前年度比1,816万円(0.3%)の減収となりました。

依存財源は、定額給付金支給に伴う国庫支出金の増や退職手当債による市債の増などにより、前年度比9億4,976万円(14.6%)の増収となりました。

区分	平成20年度決算額	平成19年度決算額	伸び率
市税	39億8,710万円	41億3,175万円	▲3.5%
諸収入	8億7,891万円	10億6,854万円	▲17.7%
繰越金	4億2,114万円	1億8,835万円	123.6%
使用料及び手数料	4億1,343万円	4億1,688万円	▲0.8%
分担金及び負担金	2億1,714万円	2億1,595万円	0.6%
繰入金	2億5,050万円	1億7,867万円	40.2%
財産収入	2,028万円	650万円	212.2%
寄附金	535万円	537万円	▲0.2%
計	61億9,385万円	62億1,201万円	▲0.3%
地方交付税	33億9,663万円	32億4,600万円	4.6%
国庫支出金	17億2,710万円	12億4,384万円	38.9%
市債	8億4,380万円	5億250万円	67.9%
県支出金	7億5,076万円	7億3,666万円	1.9%
譲与税・交付金	7億2,724万円	7億6,677万円	▲5.2%
計	74億4,553万円	64億9,577万円	14.6%
合計	136億3,938万円	127億778万円	7.3%